

「内科学」の基盤となるサイエンスから実践的な臨床まで。

第一線をいく執筆陣 712 名、カラー図表 2740 点！

医師人生の礎となる、一生使える内科学書！

序文 より抜粋

ゲノム解読をはじめとした数々の研究成果、またエビデンスの集積に伴い、この10年間で医学は大きく進歩している。今後の医学と医療の礎となるような確かな情報は、そのニーズに応じて一層注目を浴び、より重要性を増している。

そこで『カラー版 内科学』においては、ゲノム研究やサイエンスの最新知見を活かした「21世紀のまったく新しい内科学書」をめざしたいと考えた。

編集においては、このような本書の趣旨をふまえ、第一に、最先端でハイレベルなところまで踏み込んだ、アカデミックな内容、第二に、疾患の概念から診断・治療まで、病態生理や薬理作用のメカニズムも重視した、深い理解を助ける記述、第三に、オールカラーの図表をふんだんに盛り込んだ、印象に残るビジュアルなレイアウト、に努めた。

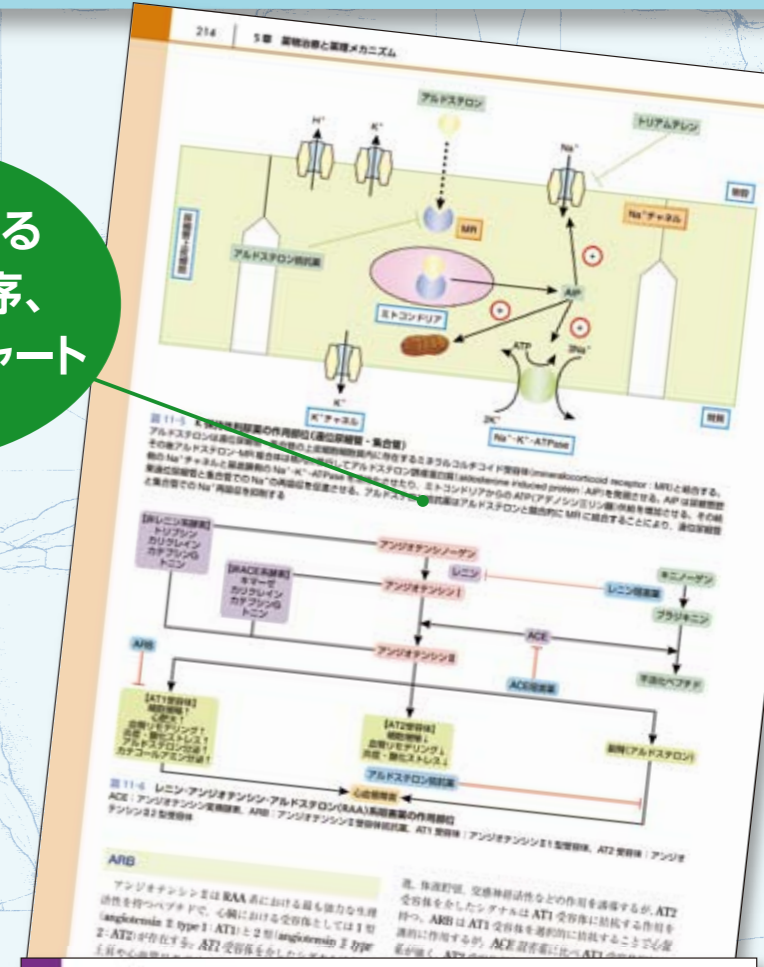
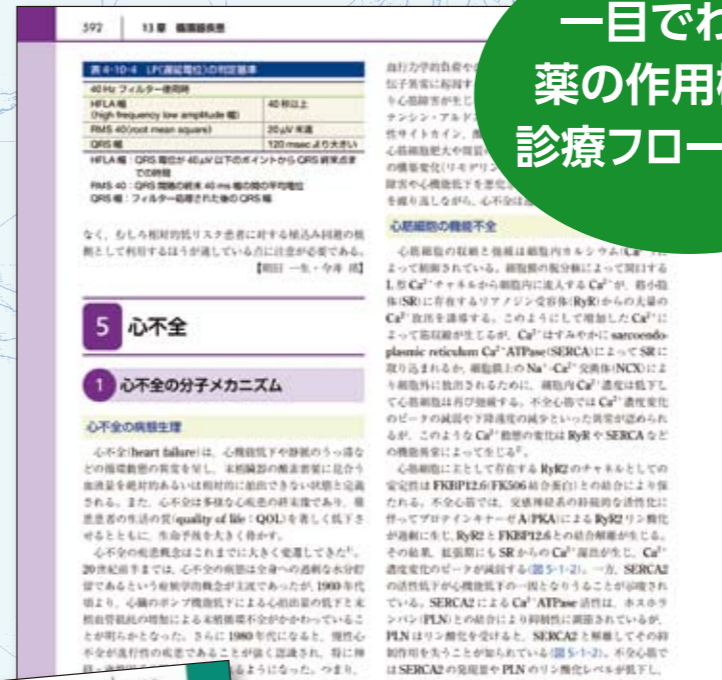
本書の読者対象としては、医学生、初期・後期研修医、内科認定医や内科専門医をめざす若手医師としたが、内科診療にかかわるすべての医師に、内科学の教科書として日々の診療の場で座右に置きご活用いただきたい。本書の編集は、東大の臓器別・疾患別の全内科の教授が編集にあたり、繰り返し討議を重ね、構想を練って、項目の選定と、その項目の執筆に最もふさわしい全国の大学・基幹病院の第一線の専門医に依頼を行った。

本書の刊行後の最新知見は「増補版」および「改訂版」でタイムリーにアップデートしていきたい。また本書が長い間にわたって最新の内科学のスタンダードな教科書として活用されることを望みたい。

門脇 孝 永井 良三

全編 オールカラー!!

一目でわかる 薬の作用機序、 診療フローチャート



カラー版 内科学 目次

総論

- 1章 内科学の進歩と医の原点
- 2章 内科診療の進め方
- 3章 疾患の疫学
- 4章 遺伝学と疾患の分子メカニズム
- 5章 薬物治療と薬理メカニズム
- 6章 内科疾患と腫瘍学
- 7章 内科疾患と栄養学
- 8章 内科疾患と免疫学・炎症
- 9章 内科疾患と感染症学
- 10章 内科疾患と再生医学
- 11章 高齢者のアプローチと老年疾患の考え方
- 12章 中毒・環境要因による疾患

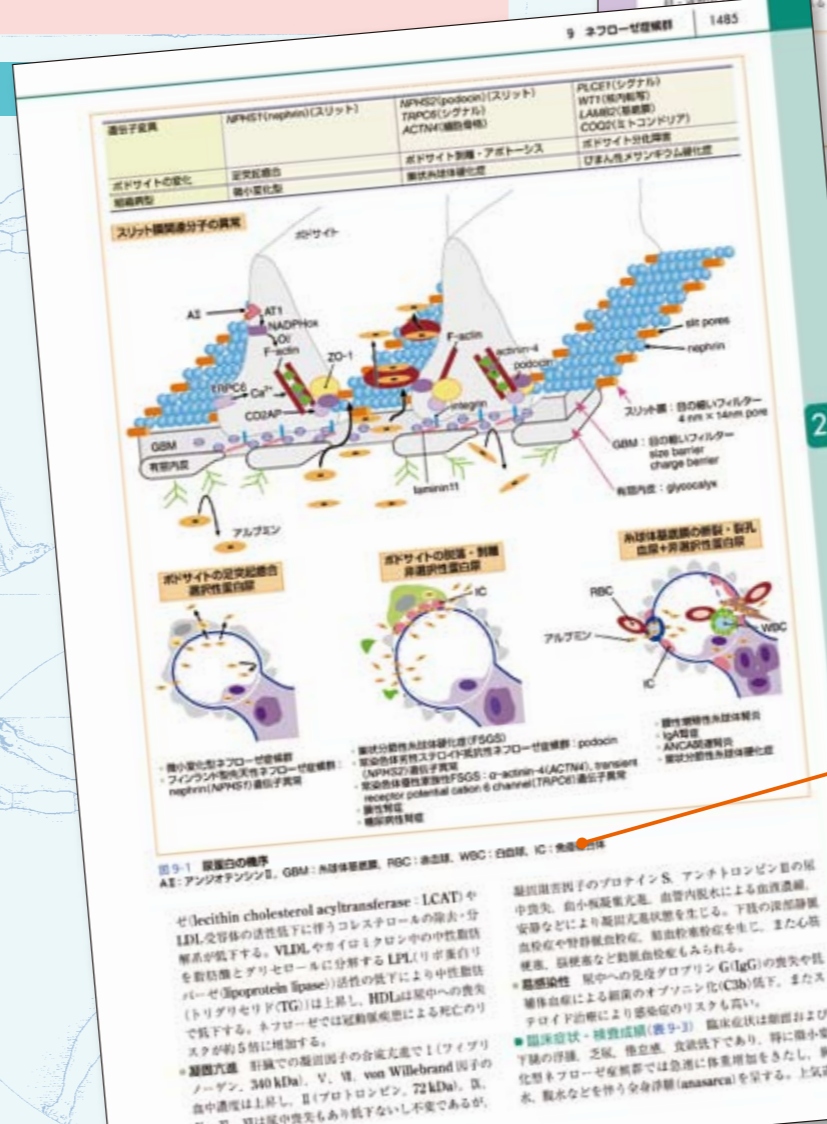
各論

- 13章 循環器疾患
- 14章 呼吸器疾患
- 15章 消化管疾患
- 16章 肝・胆・膵疾患
- 17章 代謝・栄養疾患
- 18章 内分泌疾患
- 19章 リウマチ性疾患, アレルギー性疾患, 免疫不全症
- 20章 血液・造血器疾患
- 21章 腎・尿路疾患
- 22章 神経疾患
- 23章 老年疾患と老年症候群
- 24章 感染症・寄生虫疾患
- 25章 心身医学的要因による疾患

(編集)

- 赤林 朗 / 門脇 孝 / 永井良三
- 大内尉義 / 山本一彦
- 辻 省次 / 長瀬隆英
- 門脇 孝 / 黒川峰夫 / 辻 省次
- 永井良三
- 黒川峰夫 / 小池和彦 / 長瀬隆英
- 永井良三 / 山本一彦
- 森屋恭爾 / 四柳 宏
- 黒川峰夫 / 藤田敏郎
- 大内尉義
- 辻 省次 / 長瀬隆英

- 永井良三
- 長瀬隆英
- 小池和彦
- 小池和彦
- 門脇 孝
- 藤田敏郎
- 山本一彦
- 黒川峰夫
- 藤田敏郎
- 辻 省次
- 大内尉義
- 森屋恭爾 / 四柳 宏
- 赤林 朗



ビジュアルなレイアウト

徹底した略語ガイド

印象に残る カラー図表

